

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html ■ 特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告方法	当社のホームページに掲載する http://www.daidoh-limited.com/ ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部



株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室
〒101-8619
東京都千代田区外神田三丁目1番16号
TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051



株主の皆様へ

第88期中間(第2四半期)報告書

2010年4月1日から2010年9月30日まで



株式会社ダイドーリミテッド

<http://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205



代表取締役社長

安江 恵



代表取締役副社長

川西靖彦

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、厳しい事業環境に対応するための業務改革と、グローバル企業としての躍進を目指した取り組みを推し進めております。当第2四半期累計期間の連結業績は純損失を減少することができ、先行き不透明な状況のなかではありますが、経営効率化の成果も見え始めております。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「グローバル企業への進化」と「付加価値の拡大」を推し進め、さらなる経営効率化を図ります。

当第2四半期累計期間の営業の概況

当第2四半期累計期間の事業環境は緩やかながら回復の兆しが見られましたが、円高や株価低迷の影響もあり経済の足踏み状態といわれるなかで、依然として雇用・所得環境は厳しい状況で推移いたしました。

衣料品業界においては、記録的な猛暑などの天候不順もあり、消費マインドの低迷が続く状況にあります。

このような経営環境が続くなか、当第2四半期累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は前年同期比2.2%減の121億14百万円ですが、営業損失は1億99百万円と前年同期比でわずかながら減少することができました。

キャッシュフローは、現金及び現金同等物の残高が前年同期比96.8%増の79億66百万円となりました。

業務改革の進捗状況

連結子会社群では「売上総利益率の改善」「販売費及び一般管理費の削減」「在庫圧縮」を掲げて、中国工場においては、縫製ラインの馬鞍山シフトと生産量に応じた適切な人員配置を行い、効率化のためのシステム構築を進めております。

衣料品販売部門では、適正な在庫状況を維持することで売上総利益率の改善を図り、不採算店舗の撤退も実行しながら

経営の効率化を推進しております。

不動産賃貸事業は、当社グループ内に分散していた経営資源を集約して効率化を図るため、2010年4月1日に子会社の組織再編を実施いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上総利益率は前年同期比0.7ポイント向上し51.4%となり、売上高の低下はありましたが営業損失を前年同期にくらべて減らすことができました。

中期経営計画の進捗状況

中期経営計画の2年目である当期は、既存事業の効率化を行いながら、当社グループの強みを活かした新規事業をスタートしております。

現在進めている「業務改革」では、各種業務の効率化のためのシステム構築の段階に入っております。いよいよ来年からこのシステムを活用して、中国内および日中間の製造から販売までの業務効率化・省力化を実行してまいります。

衣料事業では、生地の販売だけでなく、高品質な素材を活用した衣料製品の販売を強化してまいります。そのための具体的な施策として、スーツを中心としたオーダービジネスを拡充しております。

日本においては、「ニューヨーカー」でメンズ・ウィメンズのパターンメイドの受注・販売を強化し、銀座の直営店「ダイドーターリング スタジオ」を中心としたオーダーの受注・販売も、取り扱い店舗を拡充しております。

中国においては、中国で最高級品を製造し販売するという考えのもと、工場直販のオーダースーツのファクトリーブランド「ミリオンクラブ」の一号店を上海にオープンいたしました。

また、欧米でも当社の製品に高評価をいただいております。イタリア・アメリカでのオーダー事業の展開を予定しております。

不動産賃貸事業では、事業を集約したことで管理・運営の効率化を行い、包括的な事業戦略を進めております。

投資の面では、当社グループの成長戦略の柱である中国事業を重視し、上海市に大都利美特（中国）投資有限公司を設立して活動を開始いたしました。この会社を中国での本部と位置付けて、製造・販売の拡充を行ってまいります。

おかげさまで、当社は創業131年目を迎えております。

引き続き中長期の視点を持った経営を重視し、信頼を高められるよう企業価値の向上を図ってまいります。



グリデカナ青山

2010年10月8日、 グリデカナ青山ショップを オープンいたしました。



テキスタイルデザイナー梶原加奈子の視点から生まれるバッグ・スカーフ・インテリア・雑貨などを揃えました。

色・模様・動き・光と影・空気など、五感を生き生きとさせるライフスタイルを提案してまいります。

「Moving Textile」を感じさせる空間ディスプレイ、自然の草花が咲くお庭など、“グリデカナの森”へ遊びにきてください。

場所は、表参道、青山通りから少し入ったところ
です。

オープンにあわせて、WEBサイトもリニューアルいたしました。商品コレクション、テキスタイル、ワークショップ開催など様々な情報を発信しております。

<http://www.gredecana.com>

【所在地】〒107-0061
東京都港区北青山3-13-12
TEL: 03-5464-6310
【営業時間】11:00～19:00 (不定休)



NEW YORKER

オンラインストア

1年間で蓄積されたノウハウと課題を基に、“より親切”なオンラインストアを目指してサイトをリニューアルいたしました。



<http://www.ny-onlinestore.com>

- 1 **サイトの魅力をわかりやすく**
トップページを大幅にリニューアルして、初めて訪れた方にもサイトの魅力をお伝える工夫を各所に施しました。
- 2 **お客様ごとのニーズに対応**
お客様のニーズに対応するため、新規顧客・既存顧客、男性・女性、それぞれに適したコンテンツを表示する機能を採用いたしました。
- 3 **簡単な商品検索**
商品検索をわかりやすく簡単にいたしました。



初回購入時の不安解消 初回ご購入時は、W送料（お届け送料と返品送料）を無料とさせていただきます。




“GENTLY SCENE” & “Brithish-mood”



Autumn & Winter Collection
Men's

見慣れた風景、雑踏する街中、時間に追われる日々…今シーズンは、そんな忙しい日常生活さえも楽しめる、大人の余裕を感じさせるスタイルをご提案いたします。
「GENTLY SCENE～穏やかな光景～」をコンセプトとし、都会に在るのに自然の中にいるような、本来の自分を取り戻すような、居心地の良さと澄んだ気持ちをイメージ。自然を感じられる新しい着心地をお楽しみいただけます。



Autumn & Winter Collection
Women's

ツイードのジャケット、タータンチェックのスカート、アーガイルのセーター…凛としていながら、かわいらしく、品位を失わない。身につけた人が独特のムードを纏う英国生まれの服。
今シーズンは、そんな英国にインスパイアされた、トラディショナルでクラシックな「British-mood」を、現代的に軽く柔らかくアレンジしたスタイルをご提案いたします。

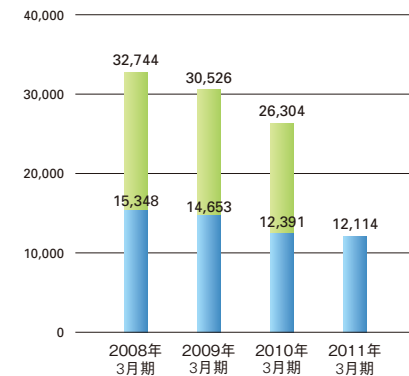


連結財務ハイライト

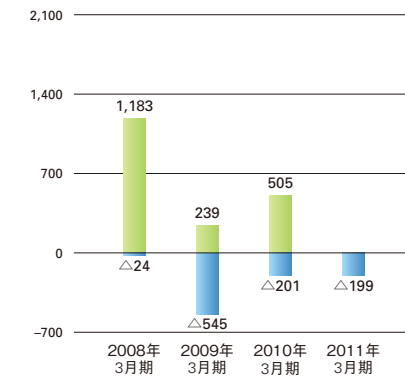
(特に記載のない限り2010年9月30日現在の状況です。)

■ 通期 ■ 第2四半期

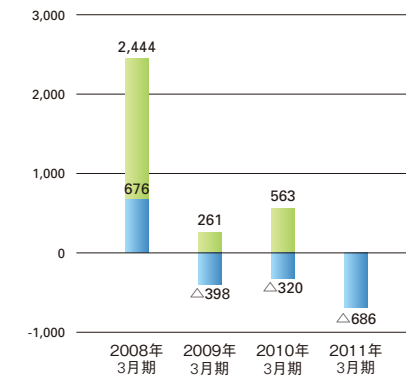
■ 売上高 (単位:百万円)



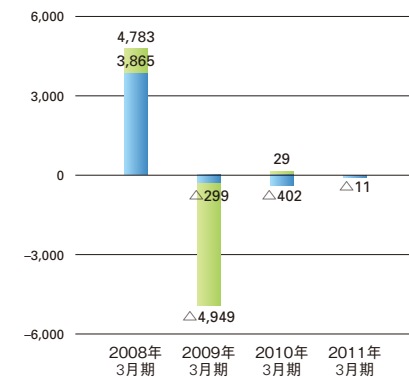
■ 営業利益 (単位:百万円)



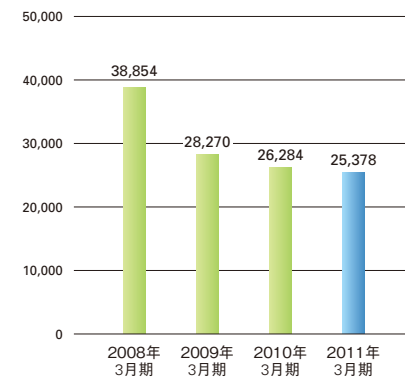
■ 経常利益 (単位:百万円)



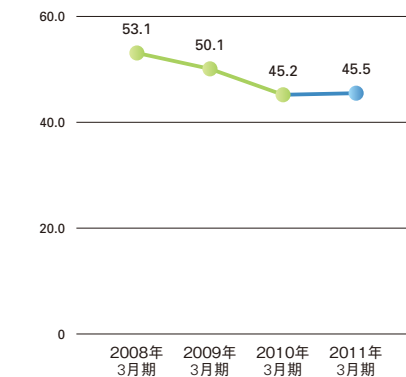
■ 四半期(当期) 純利益 (単位:百万円)



■ 純資産 (単位:百万円)



■ 自己資本比率 (単位:パーセント)



事業別営業概況(連結)

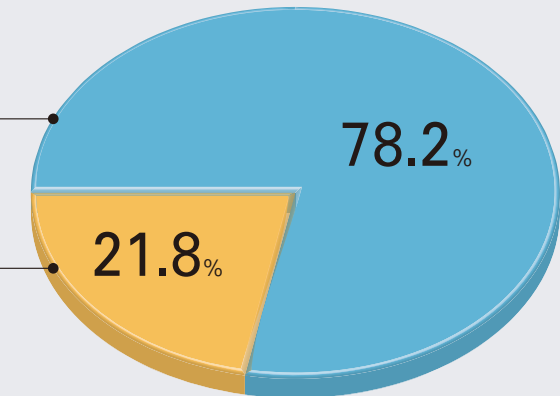
衣料事業

中国工場群においては、経費の削減、生産の効率化を進めておりますが、世界的な不況の影響により国内外からの受注減少で生産量が大きく落ち込み、テキスタイル事業におきましても紳士服の低価格化と販売不振の影響などで収益面についても低調に推移いたしました。

衣料品販売部門では、オーダーメイドやオンラインストアによる売上増加および9月のシルバー

ウィーク以降の回復がありましたが、8月までの天候不順等の影響により当社グループの主力商品である重衣料の販売低下で、売上は昨年同期を若干下回りました。一方、利益面では経費の削減を進めた結果、改善することができました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における衣料事業の売上高は95億76百万円、営業損失は8億26百万円となりました。



不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は堅調に推移し、当第2四半期累計期間における同事業の売上高は26億75百万円となりました。営業利益は、経費の削減により6億9百万円となりました。

(注) 1. 当期より、事業セグメントを変更しております(事業の関連性がより高まったことを受けて、従来の「衣料原料事業」と「衣料製品事業」を統合し「衣料事業」に変更)。
2. 売上高構成比は、セグメント間の内部売上高を含む金額で算出しております(合計額12,252百万円を分母として算出)。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

単位：百万円

前第2四半期連結会計期間末 当第2四半期連結会計期間末 前連結会計年度末
2009年9月30日現在 2010年9月30日現在 2010年3月31日現在

資産の部			
1 流動資産	13,956	17,589	19,911
現金及び預金	4,048	7,966	6,481
受取手形及び売掛金	2,313	2,374	2,891
有価証券	993	999	5,017
たな卸資産	5,425	4,807	4,318
その他	1,202	1,504	1,233
貸倒引当金	△ 28	△ 62	△ 32
固定資産	38,973	37,726	37,702
有形固定資産	16,792	15,083	15,674
無形固定資産	385	458	372
投資その他の資産	21,794	22,184	21,656
投資有価証券	19,363	18,751	19,242
その他	2,658	3,662	2,643
貸倒引当金	△ 227	△ 229	△ 229
2 資産合計	52,929	55,315	57,613

1 流動資産

現金及び預金、たな卸資産が増加した一方で、有価証券が減少したことなどから、流動資産は前期末比23億22百万円減少し175億89百万円となりました。

2 資産合計

流動資産が減少したことから、資産合計は前期末比22億98百万円減少し553億15百万円となりました。

単位：百万円

前第2四半期連結会計期間末 当第2四半期連結会計期間末 前連結会計年度末
2009年9月30日現在 2010年9月30日現在 2010年3月31日現在

負債の部			
流動負債	13,942	12,059	16,658
支払手形及び買掛金	1,825	2,082	1,758
短期借入金	8,888	5,727	9,820
1年内返済予定の長期借入金	1,250	1,000	1,625
その他	1,978	3,248	3,454
固定負債	11,605	17,876	14,670
長期借入金	—	7,500	4,000
長期預り保証金	9,879	8,543	9,005
その他	1,725	1,832	1,665
負債合計	25,547	29,936	31,329
純資産の部			
株主資本	27,004	25,776	26,530
資本金	6,891	6,891	6,891
資本剰余金	8,763	8,696	8,746
利益剰余金	14,799	13,717	14,529
自己株式	△ 3,449	△ 3,528	△ 3,637
評価・換算差額等	124	△ 618	△ 469
その他有価証券評価差額金	△ 307	△ 718	△ 733
為替換算調整勘定	432	99	263
新株予約権	134	137	130
少数株主持分	117	83	92
純資産合計	27,381	25,378	26,284
負債純資産合計	52,929	55,315	57,613

3 有利子負債

短期借入金が前期末比40億93百万円減少し、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が同28億75百万円増加したことから、当第2四半期末の有利子負債残高は、同12億18百万円減少し142億27百万円となりました。

4 純資産合計

配当金の支払いによる利益剰余金の減少などにより、純資産合計は前期末比9億5百万円減少し253億78百万円となりました。
自己資本比率は、借入金返済等による負債の減少もあり、前期末比0.3ポイント向上し45.5%となりました。



四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書(要旨)

単位：百万円

		前第2四半期連結会計期間 2009年4月1日～ 2009年9月30日	当第2四半期連結会計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日	前連結会計年度 2009年4月1日～ 2010年3月31日
5	売上高	12,391	12,114	26,304
	売上原価	6,105	5,884	12,840
	売上総利益	6,285	6,230	13,463
	販売費及び一般管理費	6,487	6,429	12,957
6	営業利益又は営業損失(△)	△ 201	△ 199	505
	営業外収益	508	399	864
	営業外費用	628	886	807
	経常利益又は経常損失(△)	△ 320	△ 686	563
	特別利益	392	39	395
	特別損失	131	733	532
	税金等調整前四半期純損失 又は税金等調整前当期純利益	△ 59	△ 1,380	426
	法人税、住民税及び事業税	28	20	264
	法人税等調整額	317	△ 1,383	133
	法人税等合計	346	△ 1,362	397
	少数株主損益調整前 四半期純損失	—	△ 18	—
	少数株主損失	△ 3	△ 6	△ 0
	四半期純損失 又は当期純利益	△ 402	△ 11	29

5 売上高

売上高は前年同期比2.2%減の121億14百万円となりました。これは主に、消費マインドの低迷が続く厳しい状況の中で8月までの天候不順の影響も加わり、衣料品販売における主力商品である重衣料の販売が低下したことによります。また、世界的な不況による中国工場群での受注減少も影響いたしました。

6 営業損失

営業損失は前年同期の2億1百万円から若干減少して、1億99百万円となりました。工場群の受注減少やテキスタイル事業の販売不振などがありましたが、衣料品販売部門で経費の削減を進めるなど利益の改善ができました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位：百万円

		前第2四半期連結会計期間 2009年4月1日～ 2009年9月30日	当第2四半期連結会計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日	前連結会計年度 2009年4月1日～ 2010年3月31日
7	営業活動による キャッシュ・フロー	1,466	522	3,770
	投資活動による キャッシュ・フロー	2,472	3,050	△ 1,717
	財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,519	△ 2,062	1,817
	現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 0	△ 26	△ 18
	現金及び現金同等物の 増減額	1,418	1,484	3,851
	現金及び現金同等物 期首残高	2,630	6,481	2,630
	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	4,048	7,966	6,481

7 キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費10億75百万円、たな卸資産の増加5億35百万円等があり、5億22百万円の収入超過となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出19億79百万円、有形固定資産の取得による支出5億19百万円がありましたが、投資有価証券売却による収入15億85百万円、有価証券の償還による収入40億24百万円等があり、30億50百万円の収入超過となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額8億円、長期・短期借入金の返済による支出12億25百万円等により、20億62百万円の支出超過となりました。これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、79億66百万円となりました。



グループ編成

事業活動と
主要なグループ会社

当社グループの連結子会社は13社、持分法適用関連会社は1社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して『お客様第一』『品質本位』の基本を共有して事業運営に当たっております。



※当社は2010年4月1日付で純粋持株会社体制に移行いたしました。その一環として、株式会社ダイドーインターナショナルへの株式会社ダイナシティの吸収合併などを実施いたしました。

衣料事業

販 売 株式会社ニューヨーカー
上海纽约服装销售有限公司
(SHANGHAI NEWYORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)
愛雅仕商貿(北京)有限公司
(ARNYS TRADING (BEIJING) CO., LTD.)
株式会社ダイドーインターナショナル
*株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン



製 造 大同利美特(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)
大同佳樂登(馬鞍山)有限公司
(DAIDOH JARDIN (MAANSHAN) CO., LTD.)
大同利美特時裝(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)
大同利美特染整(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

製造・販売 芭貝(上海)毛线編結有限公司
(PUPPY (SHANGHAI) YARN HAND-KNIT CO., LTD.)

貿 易 大同利美特貿易(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.)

* = 持分法適用関連会社

不動産賃貸事業

株式会社ダイナシティ



統括及び管理会社

大同利美特(上海)管理有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) MANAGEMENT CO., LTD.)
大都利美特(中国)投資有限公司
(DAIDOH LIMITED (CHINA) HOLDINGS CO., LTD.)

(注) 中国事業の効率化などを目的として、大都利美特(中国)投資有限公司を設立いたしました。

(特に記載のない限り2010年9月30日現在の状況です。)



会社情報

(特に記載のない限り2010年9月30日現在の状況です。)

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド DAIDOH LIMITED

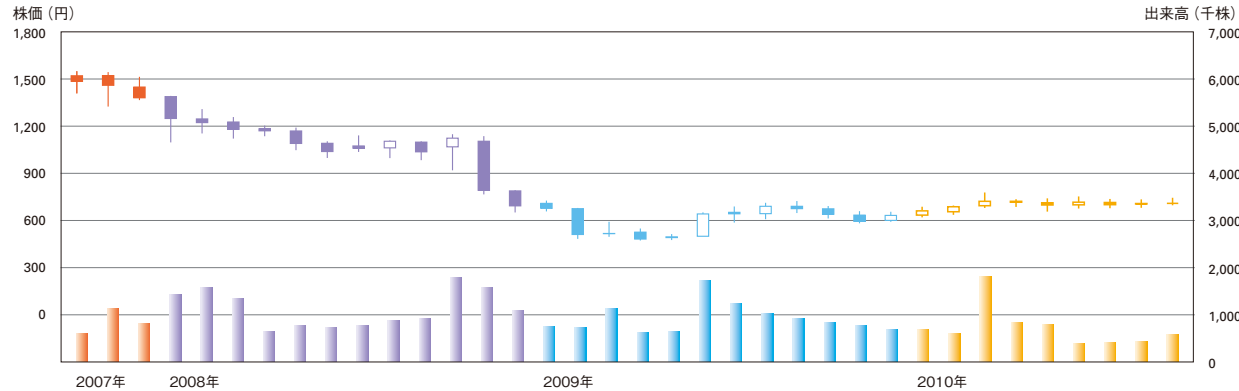
創 業 1879年(明治12年)1月
設 立 1949年(昭和24年)10月17日
資 本 金 6,891,851,938円

取締役および監査役

代表取締役社長 安 江 恵
代表取締役副社長 川 西 靖彦
取締役副社長 田 口 正幸
取締役上席執行役員 和 賀 勇
取締役上席執行役員 大 川 伸
取締役執行役員 村 尾 勤
取締役執行役員 戸 澤 かない
監査役(常勤) 大 木 邦治
監査役(常勤) 林 尾 玄
監査役(弁護士) 桃 尾 重明
監査役(弁護士) 田 口 哲朗

(注) 桃尾重明、田口哲朗の両氏は、社外監査役であります。

株価の推移グラフ



主要な事業所

本社 東京都千代田区外神田三丁目1番16号
小田原開発管理センター 神奈川県小田原市中里208番地

従業員の状況

株式会社ダイドーリミテッド 68名
企業集団の合計 1,782名

主な借入先

借入先	借入金残高
株式会社みずほコーポレート銀行	4,480百万円
住友信託銀行株式会社	3,480百万円
株式会社三井住友銀行	1,770百万円

(注) 上記には株式会社みずほコーポレート銀行を幹事とする9行の総額4,500百万円のシンジケートローンは含まれておりません。



株式関連情報

株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数(自己株式を含む) 37,696,897株

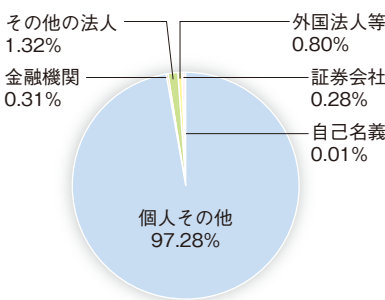
株主数 9,172名
(前期末 10,260名)

大株主

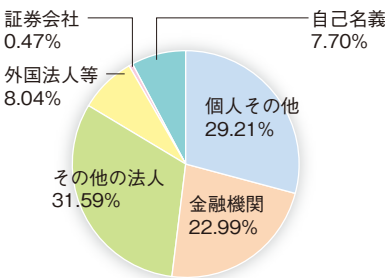
株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワードホールディングス	66,000
三井住友海上火災保険株式会社	18,457
株式会社ソトー	12,500
JP MORGAN CHASE BANK 380084	11,970
住友信託銀行株式会社	11,340
株式会社みずほコーポレート銀行	11,283
明治安田生命保険相互会社	9,310
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,811
栗原株式会社	5,878
ダイドーリミテッド取引先持株会	5,452

(注) 当社所有の自己株式(3,240,615株)は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



*本報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。